

平成30年度 亀山市廃棄物減量等推進員(ごみダイエットサポーター)活動報告

2018年10月1日(月)

亀山市廃棄物減量等推進員(ごみダイエットサポーター)を委嘱しました。

亀山市廃棄物減量等推進員(ごみダイエットサポーター)を、7名の方へ委嘱しました。

(男性2名、女性5名)

これから2年間、市民のみなさんへ、ごみを減らすことの大切さやごみを減らす方法などを伝えていただきます。

2018年11月7日(水)18:00～、13日(火)13:30～

第1回ごみダイエットサポーター会議を開催しました。

会議は、サポーター全員に参加いただけるよう、2回に分けて開催しました。

今回は、亀山市のごみの処理状況等についてお話し、今後はサポーターの皆さんに、広報やホームページ等で、ごみの減量について啓発いただくことをお願いしました。

サポーターの皆さんには、様々なご意見をいただき、今後、ごみ減量の大切さを、市民の目線で発信していただきたいと思っております。

2018年11月18日(日)

『食の祭典 市民の集い』でごみ減量のための啓発活動を行いました。

『食の祭典 市民の集い』にて、ごみダイエットサポーターさんと一緒に「食品ロス削減に関するチラシ」と「水切りごみ袋」を配布しました。

食品ロス削減に関するチラシは、協働事業「みんなで減らそう食品ロス」の一環として、かめまるさんと一緒に作成したものです。食品ロスを減らすためにできることを、「家庭編(エコクッキング)」と「外食(宴会)編」の2つの場面に分けて紹介しています。

みなさんも、できることから、食品ロス削減にご協力をお願いします。



2019年1月23日(水)

古紙回収業者を見学しました。

福田三商株式会社本社(名古屋市南区)にて、古紙回収の仕組みなどについて見学しました。

ごみダイエットサポーター5名(男性2名、女性3名)も一緒に見学し、古紙をリサイクルするメリットなどについて教えていただきました。

たくさんお話を聞かせていただきましたが、興味深かったお話をひとつご紹介します。

みなさんは、資源ごみに出す際、新聞と折込チラシを分けていますか？ 几帳面な方ほど分けて出しているのではないのでしょうか。

担当の方の話によると、「新聞と新聞の折込チラシは、分けなくてよい」そうです。新聞をリサイクル処理する際、折込チラシが入っているという想定で、紙からインクを取り除く薬品が調合されているからだそうです。また、紙の白さや強度を出すため、折込チラシが2~3割混ざっていた方が良くとも言われています。一方、ダイレクトメール等のチラシについては、新聞の折込チラシとは紙質等が違う場合もありますので、雑誌や本、パンフレットと一緒に出してください。

ごみダイエットサポーター M・Sさん(60代男性)

会社見学をさせていただき、「古紙とは」、「古紙の再利用とは」、「なぜ古紙のリサイクルが必要か」の基礎知識を学ばせていただきました。

今までは、ペーパー資料での知識で、古紙は「使われた紙」くらいにしか考えていませんでしたが、今回の見学において、古紙利用の拡大が、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減等につながり、それが環境保全促進、ひいては地球の緑を守ることになることを理解しました。

今後は、亀山市に住むひとりとして、もう一度古紙リサイクルを考え、ごみの分別回収に努めます。



ごみダイエットサポーター K・Aさん(40代女性)

古紙リサイクル会社の見学に参加して、古紙のリサイクル後、さまざまな商品になっていく過程を、ショールームの見学から学んできました。

亀山市も他市と同様に、ごみの分別について、さまざまな観点から市民や行政も努力していく必要があるように感じました。

